



渡辺 優子  
(公明党)

### 女性特有のがん対策

**質** 日本人の死因の第1位のがん、学校でがんを学ぶ機会をつくれぬか。また、子宮頸がん、乳がん検診、対象者への検診手帳、無料クーポン券交付のスケジュールは。

**答** 現在、がんについては、中学校の保健体育科の学習において、生活習慣病の一つとして学んでいる。がん一般に対して、学校教育段階からの適切な指導の必要性は認識しており、関係機関等と協議しながら検討していきたい。検診手帳等の交付スケジュールは、準備を早急に実施し、8月中旬には受診できるよう進めたい。

### 安全安心メールの配信

**質** パソコンや携帯電話のメール機能を利用し、子供を犯罪から守るための情報、事件や不審者の情報、また、火災や地震、洪水などの発生状況などの情報を配信すべき。

**答** 教育委員会では不審者情報の伝達を行っており、市職員や消防団員のうち希望者にはメールによる災害時の情報伝達を行っている。広く市民に安全安心に関する情報配信するためにはシステムの構築、受信者の費用負担を検討する必要がある。今後、検討課題の精査など、実用化に向けた調査・研究を進めていく。

#### その他の質問事項

- ・グリーンニューデール
- ・スクールニューデール



菅原 隆文  
(よねしろ会)

### きみまち阪観光の抱える問題点

**質** 「道の駅ふたつ」の各施設は、市役所内の5部門で別々に管理。弊害があるのでは。観光も含め二ツ井地域局に窓口の一体化を。咲かなかつた「きみまち阪の桜」の対策は。

**答** 施設間の連携と効率的な施設管理を図るため、今後も定期的に連絡会議を開催したい。厳しい財政状況等から新たな部署や担当者の配置は難しいが、施設間の連携は観光振興課を中心に取り組む。花芽の少ない要因はウソ(鳥)による食害やテングス病と判断される。各地の対策事例等を参考に適切な対策を講じたい。

### 人口減問題「婚活事業」立ち上げを

**質** 当市の人口は936人減で、6万1416人となった。問題解決のため県は少子化政策本部を立ち上げた。全国各地自治体で始まった「婚活事業」を、当市でも事業化すべき。

**答** 若手職員政策検討会議では、各種サークルの紹介や合同イベントの実施などの取り組みが提案されているが、個人の価値観に関するところで、行政としての程度踏み込むかなどの課題があり、事業の具体化に至っていない。県の事業の取り組み成果や少子化政策本部の検討の推移を注視しながら、取り組みについて検討する。

#### その他の質問事項

- ・廃校舎の備品公売と利活用具体策
- ・リサイクルポット活用と企業誘致
- ・齊藤市政の佐竹県政へのスタンス



庄司 紘八  
(市民の声)

### 藤山踏切の平面交差

**質** この件は長年20年、30年とも言われている課題であった。担当した職員の思い切りが難問解決に動き出した証だと思う。今後の藤山踏切の平面交差の見通しは。

**答** 市がJR東日本秋田支社と共同で国に提出する報告書を作成する過程で、平面交差による踏切改良について共通意識に立つことができた。具体的な協議はこれから行うことになるが、今後、現地調査等を行い、県と連携を図りながら、財源も含めて事業計画を検討し、JR東日本秋田支社との協議を進めていきたい。

### 能代駅前からの交通対策

**質** 五能線を利用した観光客の誘致からもJRと連動して駅前から気軽に行けるバスが欲しい。能代市のにぎわい創出の出発点と位置づけて、交通体系再構築を考えられないか。

**答** 本市でも、能代駅からのリゾートしらかみ観光体験メニューに市街地巡回バスを組み入れている。通勤や通学、通院、買い物等においてもJRと路線バスの乗り継ぎが重要と考える。今年度路線バス全線の利用状況や市民意向調査等を実施し、来年度に策定する基本計画で、JRと路線バスの乗り継ぎも検討したい。

#### その他の質問事項

- ・旧東能代中学校跡地利用
- ・ポイントカードでの収納
- ・木造校舎のメンテナンス